

# 産官学連携の情報発信と GIGAスクールで知る水道水のあれこれ

静岡県三島市都市基盤部

## 1. 抱えていた課題

水道水の使用量は減少傾向にあり、更に将来においても、少子化に伴う人口減少社会の到来から、有収水量の向上は見込めない状況となっています。生活に必要な水道水を安定的に供給し続けるためにも、収益の確保に向けた水道水の利用促進は各水道事業者の課題なのですが、水道料金の改定以外に解決策を見いだせない状況が続いています。そこで、円滑な料金改定を行うためにも、平素から市民等に水道に関する情報発信や啓発を行っていくことが課題となっていました。

## 2. 取組概要

平素から、市民等が興味を示す水道に関する情報発信や、水道事業に係る啓発を継続して実施するため、次の取組を行いました。

- 1 **お風呂で健康を!** (お風呂の使用量の減少抑止のための取組。産官学の連携による情報発信や、パンフレットの配布)
- 2 **GIGAスクール**で三島市の水道を学ぼう! (富士山の雪解け水等、地域の水道について、自然に学べるように電子教材を作成)



**お風呂で健康を!**  
産官学連携事業  
「お風呂部」の活動に参画し、  
企業や地元の大学生らとともに  
お風呂についての情報発信



**お風呂で健康を!**  
お風呂の魅力をもとめた、  
児童向けのパンフレットを配布



①きれいな! ②気持ちよい! ③安い!



**GIGAスクール**で三島市の水道を学ぼう!  
地域教育の一助となるような電子教材の作成

- ・企業との情報連携の締結を行い、お風呂による健康促進に関する記事の提供を受け、市の広報誌・ホームページ等で情報発信
- ・市内の大学の学園祭でのお風呂部ブース出展や、お風呂部ホームページへの市職員・大学生による記事投稿も
- ・入浴に関する内容を小学生児童向けに要約して、市内在住の絵本作家が表紙絵を描いたパンフレットを配布
- ・三島市の水道水の地域特性(富士山の雪解け水等の地下水を汲み上げる中、濁りも無く精錬された水)を記載した電子教材を作成

## 3. 取組に当たり工夫した点

- 1 (お風呂)職員増は行わない中で実現し、かつ、継続させるため、民間企業等の力を借りられるようにした。
- 2 (電子教材)教員・児童の負担増とならないようにした。



市内の大学に通う  
大学生らが記者となり  
「お風呂部」の  
ホームページで  
記事を投稿



上: 地域の特徴  
下: 教科書同等

授業の流れを変えない  
利用しやすい電子教材

## 4. PRポイント

### 【お風呂で健康を!】

- ・地元の大学等との産官学連携体制により、職員負担を必要としない中で取り組むことができる。
- ・毎日の習慣である「お風呂」を主テーマとしているため、多くの人に興味を抱かせることができる。また、様々なテーマからアプローチすることが可能

### 【GIGAスクールで三島市の水道を学ぼう!】

- ・学習用タブレットを用いた教育例は、まだ事例が少なく、興味を導きやすいため、各家庭への啓発アイテムとしての期待が持てる。
- ・環境啓発を継続するような取組を続けることにより、SDGsへの貢献へ導くことが可能

## 5. 取組の効果

- 1 **お風呂で健康を!** ⇒ 企業、学生等との連携による情報発信など、広報活動の場を広げることができた。小学校中学年向けパンフレットにより、お風呂に関心を持ってもらうことができた。
- 2 **GIGAスクール**で三島市の水道を学ぼう! ⇒ 使いやすい電子教材の作成により、学習の機会を設けることができた。電子配布手段の確立による負担減のほか、出前講座と違い、市内の子供に学習してもらうことができる。

## 6. 今後の展望

- 1 **お風呂で健康を!** ⇒ 「お風呂」と関連させ、様々なテーマから、有収水量の向上へアプローチ
- 2 **GIGAスクール**で三島市の水道を学ぼう! ⇒ 水源の清らかさ等の学習を通じ、マイボトルを推進し、SDGsへ貢献